

## 森と人をつなぎ直すには？

森林資源の過少利用が指摘されるなど、森林（自然）と人の関係の希薄化が進行しているといわれます。これの何が問題なのか、私は大きく二つに分けられると考えています。一つ目は、身近にある資源が活かされず、その代償として地球規模での資源の過剰利用につながっていること。二つ目は、災害リスクをモニタリングし対処する仕組みが働きにくくなることです。そこで、現代社会において新たな森林と社会の関係を構築することを目指し、①森林への親しみを育む自然アクセス制の研究、②森林と関わる文化の研究、に取り組んでいます。

### ①自然アクセス制

持続可能な資源利用や環境保全は、自然に親しむ人々がいて実践・支持されるものでしょう。その基盤となる自然アクセス制は、地域ごとに異なります。



誰もが森に入り、ベリー摘みができるスウェーデン



土地所有者による入山禁止の看板



富士癒しの森研究における一般開放の試み

### ②森林と文化

文化のあり方によって、森林とのつながり方は変わります。森林と関わる文化への理解を深め、森林とつきあう文化を醸成していく途を探っています。



加工の手わざがあって継承されてきた食文化



サステナブルな木製用具である木桶の裏に職人の技



新たに広がる薪ストーブを楽しむ文化